

平成  
27年度  
入園

# 園児募集



**保育園入園対象** 保護者が仕事・病気・出産などのため、家庭で保育ができない世帯の児童が入園できます。

**幼稚園入園対象** 定員に満たない場合、希望者は入園できます。

**申込期限** 11月25日(火) ▶ 12月12日(金)

**受付** 各保育園、各幼稚園または子育て支援課  
TEL 53-8419

## 平成27年4月 子ども・子育て支援新制度がスタート!

新制度のスタートに伴い、これまでの入園申込書の提出とは別に、支給認定申請書の提出が必要です。詳細は、入園申込書と同時に配られる「入園申込みのご案内」で、ご確認ください。

### 公立保育園

保育園名	住所	電話番号	開所時間 (延長保育含む)
袖ヶ江保育園 (認定こども園)	郡 町	52-1420	7:00~19:00
石崎保育園	石崎町	62-2404	7:00~19:00
高階保育園	池崎町	57-2523	7:00~19:00
大呑保育園	庵 町	59-1114	7:00~19:00
田鶴浜保育園	田鶴浜町	68-3117	7:00~19:00
中島保育園	中島町中島	66-1231	7:00~19:00
のとじま保育園	能登島佐波町	84-0123	7:00~19:00

### 私立保育園

保育園名	住所	電話番号	開所時間 (延長保育含む)
ななおあいじ保育園	天神川原町	52-3508	7:00~19:00
西湊保育園	小島町	52-3139	7:00~24:00
光の子保育園	大和町	53-0094	7:00~19:00
和倉保育園	和倉町	62-3360	7:00~20:00
あさひ保育園	飯川町	57-1418	7:00~19:00
やまと保育園	矢田町	53-2710	7:00~19:00
小丸山保育園 (認定こども園:予定)	小島町	53-3700	7:00~21:00
七尾みなと保育園 (認定こども園:予定)	矢田町	53-3750	7:00~翌1:00
本宮保育園 (認定こども園:予定)	本府中町	57-5220	7:00~20:00
ひまわり保育園 (認定こども園:予定)	千野町	57-2800	7:00~19:00
浜岡保育園	石崎町	62-3233	7:00~20:00
よつば保育園	湯川町	58-1912	7:00~19:00
東みなと保育園 (認定こども園:予定)	万行町	52-3115	7:00~19:00
あかくら保育園	三引町	68-3107	7:00~20:00

※認定こども園は、幼稚園と保育園の機能と特長を併せ持つ施設です。  
※各園でのサービス内容は異なりますので、詳細はお問い合わせください。

### 私立幼稚園

※公立幼稚園はありません。

幼稚園名	住所	電話番号	開所時間 (延長保育含む)
七尾幼稚園 (認定こども園)	馬出町	52-2869	7:30~18:30
聖母幼稚園、 聖母マリア園 (認定こども園)	南藤橋町	53-4585	7:30~18:30

問【保育園】子育て支援課 ☎53-8419または各保育園  
【幼稚園】各幼稚園

## 常に変化を求める経営で、従業員にやる気を出させる

佐々波町  
勝木 省司さん(61歳)



昭和50年に家業の佐々波鮭大敷網組合(現株式会社佐々波鮭網)に就職。平成6年に会社の経営を任せられたのを機に、多くの経営改善を実施し、成功を収めた。これまでの取り組みが評価され、11月3日に七尾市文化産業賞を受賞した。

従業員として働きながらも、将来、会社経営を任せられれば、自分なりにやりたいこと、改善しなければならぬことを明確に持っていたという勝木さん。

「私は漁師以外のことはあんまり知らんかったわ。それやとだめやと思つて、ロータリークラブや商工会議所、一般企業のセミナーや、たぐさんの会に出て、学んでんわ」と、当時を振り返った。

積極的に、漁師以外の世界に参加し、良い部分を吸収することで、改めて自分を見つめ直し、経営者としての手腕を磨いていった。

「人の良いところを見て、自分に生かすこと。人の悪いところを見て、自分を見直すこと。どや、2倍、得しとるやろ」と話してくれた。

たぐさんの人と触れ合うたびに、自己を見つめ直し、会社経営に生かしてきた。

そのつが、会社に委員会制度を設けたこと。社員は必ず、品質管理委員会や安全委員会、環境委員会、美化委員会といったどれか一つの委員会に入ることにした。委員会それぞれ

に権限を与え、社員一人一人が自分たちの会社を良くしたいという思いを持ち、それを行動に移せる環境作りを行った。

「私が若い頃は、どうせ漁師やからと自己嫌悪する人が多かった。でも、それではだめ。人には必ず、自己実現したいという気持ちがある。経営者にとって、大事なものは自己実現に向けて、表現する場所を作つてやること。そして、常に変化を求め、新しいものを取り入れること。伝統を守るにも、変化は必要」と話す勝木さん。

「一見、伝統と変化は相反する言葉のように思える。しかし、勝木さんは「これまで変化してきたからこそ、伝統が守られている」と強く話した。

消費者へ獲れたての魚を提供するために、漁港の水揚げ場に朝市を開設。また、東京築地や市内外の有名レストラン、料亭などに鮭を直送したり、県内外のイベントへ参加し、七尾魚のPRや消費拡大に取り組みすることで、「いきいき七尾魚」のブランド化に貢献してきた。

「人が育てば会社が良くなり、商品も良くなる。魚に付加価値が付くことで売上が上がり、社員のやる気向上に繋がる」と誇らしげに話す勝木さん。

漁師という自分の世界だけに留まらず、たぐさんの人と交流し、新しいことへ積極的に取り組んだことが、結果として、七尾市文化産業賞の受賞となったのだろう。

